

令和2年度  
竜王町行政執行方針

竜 王 町



# 令和2年度竜王町行政執行方針

本日、ここに令和2年第1回竜王町議会定例会を開催し、提出いたしました諸案件の御審議を願うに当たりまして、新しい年度に向けた町政の執行についてその方針を申し述べます。

## <はじめに>

我が国の経済は、中国経済の減速などを背景に外需は弱まっているものの、設備投資の増加、雇用や所得環境の改善など、内需が安定していることにより、緩やかな回復が続いています。

国においては、最大の課題である少子高齢化の壁に立ちむかうべく、幼児教育・保育の無償化をはじめとした全世代型の社会保障制度への転換、誰もがその能力を十分に発揮できる「一億総活躍社会」の本格始動、地方創生の推進とともに、令和元年10月に実施した消費税率の引き上げに当たって、経済の回復基調に影響を及ぼさないようにとのことから、軽減税率制度や臨時特別の措置など各種の対応策を実施しています。

そのような中、消費税率引き上げ後の経済動向に注視するとともに、米中貿易摩擦など通商問題をめぐる動向や新型コロナウイルスによる国内外の経済等への影響など、海外発の下方リスクによる悪影響にも備える必要があります。

さて、本町におきましても多くの課題を抱えておりますが、最大の課題は少子高齢化・人口減少です。若者世代の就学や就労による流出の増加や出生数も減少傾向にあります。また、高齢化も進んでいます。人口減少に歯止めをかけつつ、活力あるまちを維持するためにも、今一度、地域や町民の皆さんと行政がこの現実を再認識し、知恵を出し合い、連携して今まで以上に取り組んでいく必要があると考えております。

## <基本方針>

昨年は、天皇陛下のご即位により、新元号は「令和」に移り新たな時代が幕を明けました。「令和」という新たな時代を迎えた中、消費税率10%への引き上げによる増収分の一部を活用した幼児教育・保育の無償化がスタートし、今後の少子高齢化対策に期待がもたれております。

また、令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を通じた経済効果が期待されるとともに、雇用ニーズの高まりや消費活動の活発化などにより、地方創生の可能性も秘めております。

令和の新しい時代、本町にとっても、全国同様に、少子高齢化・人口減少など、困難な課題に直面しておりますが、竜王の次世代を担う者へ確かな道筋をつけるため、先の未来を見据え、全職員で総力をあげ、それらの課題の克服に向け引き続き積極的な取組を行ってまいります。

さて、私が竜王町長に就任してから、3年半の歳月が経ち、残す任期も残りわずかとなりました。私はこれまでの間、少子高齢化が急速に進んでいる厳しい環境の中でも、将来にわたりすべての世代が明るく元気に安心して暮らし続けられるよう、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れるまち竜王町」の実現に向け、5つの基本政策を基に「活力」と「安心」を

キーワードとした8つの施策や、重点プロジェクトとして位置付けた緊急的・優先的に取り組むべき課題について、組織横断的なプロジェクトチームを組織し、課題解決に向けて全力で取り組んでまいりました。

特に、「コンパクトシティ化構想・グランドデザイン構想の推進」については、「子どもと暮らす喜びを実感できるまちづくり」を掲げ、中心核に集約すべき機能の整備や地域コミュニティの維持、移動手段・公共交通ネットワークの再構築を最優先課題とし、コンパクトシティ化検討懇話会や町民ワーキングにより、関連する分野の専門家や町民の方々に参画いただく中で、将来にわたり地域の活力を維持し生活機能を確保していくための「10年後のコンパクトシティ化構想」と「30年後のグランドデザイン構想」を描きました。それに基づいて現在、中心核整備に向けた具体的なゾーニングや機能配置、交流や利活用を促すためのソフト事業の検討を進めているところであり、そのリーディングプロジェクトである竜王小学校整備については、令和7年4月の開校を目指し、基本構想の策定を進めているところであります。

引き続き、それぞれの施策や重点プロジェクトについて、具現化に向け計画的に推進し、「活力」・「安心」の確かな道筋をつけていけるよう取り組んでまいります。

また、今後ますます少子高齢化が進む中において、持続的な発展を目指していくためには、新しいまちづくりの手法を用い、効果的な施策を展開していくことが必要であると考えておりますが、それを行政だけで行っていくことは既に限界を迎えていることから、町民皆さんと今後の方向性を共有し、連携して取り組んでいくことが重要となります。

そのため、町としても全ての町民が当事者意識を持って、まちづくりに主役として活躍していただける環境づくりに努めているところであり、その一つとして、平成29年度から実施している「地域支え合いしくみづくりモデル事業」については、「地域支え合いサポート事業」に展開し、コミュニティの支え合い力の強化を目的として、コーディネータの配置を行うことで少子高齢化に伴う地域課題を洗い出し、地域住民自らが解決する方法を見出すための支援を進めてまいります。

最後に、令和2年度は、「第五次竜王町総合計画」の最終年度であります。総合計画の将来像「ひと育ち みんなで煌く交竜の郷」の実現に向け、これまでの取組の総仕上げを行うとともに、それぞれの進捗状況や成果・効果を検証し、次期計画へしっかりとバトンをつないでいけるよう、各施策を進めてまいります。

## ＜基本政策＞

「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」「次世代に誇れるまち竜王町」の実現に向けて、新たなまちづくりのための次の5つの基本政策を実行します。

- (1) 成長戦略の策定、実行
- (2) 教育、福祉、医療、社会インフラの充実

- (3) 魅力ある農業の創生
- (4) 安心安全のまちづくり
- (5) 高品質の行政サービスの提供

## <具体的施策>

5つの基本政策を実行していくために、何よりも成長こそ元気・活力のもとであり、町内に内在する豊富な人材、恵まれた自然を最大限に活用し、地方創生・成長戦略を実践していく必要があります。中心核にあるべき機能の整備や地域コミュニティの維持、公共交通ネットワークの再構築等の実現に向けたコンパクトシティ化の推進をはじめ、関係機関と連携しながら滋賀竜王工業団地の残りの区画への企業誘致や新たな起業家の発掘育成による雇用の創出、土地の有効活用、新たな住宅地等の提供により就業人口や子育て世代の増加を図るとともに、本町が誇る魅力ある竜王製品の真のブランドづくりの推進や更なる情報発信に引き続き取り組んでいきます。

あわせて、成長するためには子どもの数が増えることも必要です。このためには、若い世代が1人でも多くの子どものを安心して産み育てられる環境づくりや、生まれてきた未来を担うその子どもたちの教育環境を整えることが重要です。このことが、若い世代が竜王町に住みたい・住み続けたいと思う理由の1つとなり、定住・移住の好循環を創ります。

また、成長するためには全ての方が安心して生き生き暮らせることも必要です。このため、防災・防犯体制の充実と強化を図るとともに健康寿命の延伸に向けた地域医療や介護、福祉の充実、他人事を我が事に変えていける地域づくりを強化していきます。

これらを実行するため、「活力」と「安心」をキーワードに『活力あるまち創り』、『安心して暮らし続けられるまち創り』という2つの柱を立てて、1本目の柱では、拠点整備・発信力・企業誘致・教育力の施策に、2本目の柱では、子育て支援・健康福祉・公共交通・総合防災の施策に挑戦していきます。

### 1 活力あるまち創り

#### (1) 拠点整備

居住や教育・医療・福祉・商業・公共交通等の様々な機能の配置を検討し、将来にわたりすべての住民が安心して暮らし続けることができるまちづくりとして、コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核の拠点整備を行います。

#### (2) 発信力

町民皆さんから活力を発信していただける仕組みを構築していくとともに竜王ブランドの全国へ発信および農業・商業・観光業などがそれぞれ力を発揮する舞台づくりを行います。

### (3) 企業誘致

工業団地等への企業立地の早期実現とそれを契機とした、住宅地整備や家賃補助等による若者定住対策と雇用の促進を図ります。

### (4) 教育力

竜王で子どもを育てたい、竜王の教育を受けさせたいと願って若い世代が定住してくれるよう、教育力の向上、充実を図ります。また、竜王小学校については、令和7年4月の開校を目指した移転新築を進めていきます。

## 2 安心して暮らし続けられるまち創り

### (1) 子育て支援

安心して子ども産み、育てられる環境づくりと子育て支援の充実を図るため、中学校までの医療費無償化の継続や、子育て世帯への経済的支援を行います。

### (2) 健康福祉

健康寿命の延伸や地域コミュニティの強化、高齢者福祉の充実を図るための施策を展開します。

### (3) 公共交通

持続可能な地域公共交通や移動手段の確保に加えて、町道の舗装修繕等による長寿命化を図り通行の安全確保に取り組みます。

### (4) 総合防災

防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化を核とした防災体制強化を進めるとともに、日野川の抜本改修、国道8号の整備等に係る国・県要望を強化し加速化を図ります。

## <令和2年度予算編成について>

令和2年度の財政見通しとして、歳入面では、税制改正に伴う法人町民税率の引き下げにより2.3億円程度の法人町民税収の減少を見込んでいるものの、固定資産税の増加や消費税増税による地方消費税交付金の増加、また法人事業税交付金の新規交付を見込んでいるため、一般財源総額については、令和元年度に比べ増加すると見込んでいます。

しかしながら、歳出面では、会計年度任用職員制度への移行による人件費の増が見込まれることに加えて、総合計画をはじめとした各種計画の策定や「10年後のコンパクトシティ化構想」実現に向けた中心核整備の推進、公共交通の充実、若者定住対策、公共施設の維持修繕または更新など課題解決に向けた事業により、一般財源充当額の増加を見込んでいることから、全事業において、優先度と緊急性を考慮しつつ必要性や適正規模を検証し、歳出を精査するとともに、適正な財政計画に基づき、しっかりと推進していく必要があります。

こうした中、令和2年度当初予算案については、平成29年度から開始している重点施策プロジェクトを力強く推進しつつ、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を実現するため、「活力あるまち創り」、「安心して暮らし続けられるまち創り」を柱として、8つの施策に予算を重点配分しており、『活力と安心のまち、向かう未来へ いざ前進』予算としています。

具体的な内容については、次のとおりです。

## (1) 活力あるまち創り

### 【1 コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核の拠点整備】

#### ①コンパクトシティ化構想に基づく中心核の整備

コンパクトシティ化構想に基づき具体的な手法を示した中心核整備基本計画を基に、地元や国、県などの関係者との協議を進めるとともに竜王小学校整備基本構想とも整合性を取り、中心核整備を進める。

### 【2 魅力ある農業・商業・観光業などがそれぞれ力を発揮する舞台づくり】

#### ①道の駅アグリパーク竜王モデル化の推進

重点道の駅「アグリパーク竜王」について、「モデル道の駅」をめざし、施設の整備を行い、生産者、出荷者、消費者との交流の場として来訪者の増加を見込む。

#### ②竜王近江牛等特産品の魅力を発信

町内の生産者、企業、関係機関、行政が連携し、まちの魅力の発信を行う。また、重点道の駅「竜王かがみの里」の駐車場の拡大等を図る。

#### ③魅力ある農業の創生と農業振興のあり方の検討

野菜・果樹・近江牛等の魅力ある農産物を真のブランドとして創生するため町独自の支援をする。また、農業のあり方について幅広い分野からの意見を聞く中で、担い手の育成、経営基盤の安定、産地の育成強化、土地改良施設等の維持保全等について竜王町農業の方向性を見出す。

#### ④土地改良施設の機能強化

農村保全に取り組める環境整備を図るための人的強化を行う。また、ため池詳細調査の実施、農業用ため池のハザードマップを作成する。

### 【3 工業団地等への企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進】

#### ①滋賀竜王工業団地等への企業立地の早期実現

企業が活動しやすい環境づくりや企業誘致を積極的に実施し産業の高度化および地域の活性化を図る。

②若者定住のための住まい助成

若者の定住を促進するため、住宅の新築およびリフォームならびに家賃への助成を行うことで定住化を図る。また、町有地を活用した住宅地確保に向けた検討も継続する。

【4 竜王で子どもを育てたいという教育の充実】

①竜王小学校の移転新築等に向けた準備

令和7年4月に開校をめざす竜王小学校の移転新築について、令和元年度の基本構想を基に基本計画を策定するための準備を進めるとともに、移転予定区域内における文化財試掘調査を行う。

②滋賀国スポ開催に向けたボルダリング施設整備と選手育成

竜王町総合運動公園内に県大会レベルの開催が可能な常設ボルダリング施設を整備するための準備を進める。また、アスリートの育成に向けた支援に取り組む。

③きめ細かな教育の推進

町費による各種支援員等を町内校園に配置し一人ひとりに寄り添うきめ細かな指導や支援を充実する。

④生きて働く基礎学力の定着

児童生徒の基礎学力の定着に向けた指導力の向上、また「徹底反復学習」に取り組み、集中力の向上や脳の活性化を図り総合的な学力の向上をめざす。

⑤幼小中系統的英語教育の推進

英語教育について幼小中の系統性を一層重視し、英語教育の更なる充実を図る。

⑥子どもの健やかな成長を支援する家庭教育の充実

国の「早寝早起き朝ごはん」推進校事業の委託を受ける中「家庭教育」を社会教育推進の大きな柱として取組を進める。

(2) 安心して暮らし続けられるまち創り

【1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援等の充実】

①小中学生の医療費無償化を継続

小学生から中学校卒業までの医療費の無償化を継続する。(平成29年10月から実施)

②放課後児童の健全な育成

児童数の増加に伴い西小学校区の学童保育所を1クラス増設し、合計5クラスにより、昼間



就労等で保護者が不在の児童に対し安心して安全な育成の場を提供する。

③給食センター内の食物アレルギー対策

安全で安心な学校給食づくりを一層推進するため、給食センター内にアレルギー対応調理室を設置する。

④軽自動車の購入助成

定住促進および子育て世帯の支援を目的とした軽自動車購入の助成に加え、高齢者を対象に先進安全性能を備えた軽自動車購入に対する助成を追加し、地域経済の活性化を図る。

【2 健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実】

①りゅうおう健康ベジ7（セブン）チャレンジの更なる推進

本町の健康課題である糖尿病および高血圧症などの予防のため、健康いきいき竜王21プランに基づき、地域や関係機関と協働して取組を進めることで、健康寿命の更なる延伸を図る。野菜350g、塩分7g未満、血圧チャレンジに加えて、今年度は受動喫煙の防止、こころの健康づくりに取り組む。

②地域支え合いサポート事業による地域コミュニティの強化

平成29年度から取り組んできた「地域支え合いしくみづくりモデル事業」の成果となる竜王モデルを普及するとともに、より多くの自治会において少子高齢化に伴う地域課題を洗い直し、地域住民自らが解決する方法を見出すためのコーディネータを派遣し、その取組を支援する。

③高齢者福祉施設の整備

第7期介護保険事業計画に基づき、認知症高齢者グループホームの整備の促進および安定した体制整備を支援する。

【3 持続可能な地域公共交通や移動手段の確保】

①新しい公共交通システムの構築

子育て支援、定住促進等を目的とした通学定期補助や夜間特別便を継続実施するとともに、地域と中心核、地域と主要駅をつなぐ移動手段の整備に向け社会実験を実施し、利便性の高い公共交通システムの構築をめざす。

②竜王大橋の耐震補強と道路交通網の長寿命化

緊急輸送道路上に位置する竜王大橋について耐震補強工事を完了させる。また、町道の舗装修繕等による長寿命化を図り通行の安全を確保する。

#### 【4 防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化を核とした防災体制強化】

##### ①竜王町防災行政情報システムの整備

昨年度から実施している情報伝達手段の充実化および多重化を図るための防災行政情報システムの整備を完了させる。全戸に戸別受信機を設置するとともに情報伝達アプリの整備を行う。

##### ②竜王町洪水・土砂災害ハザードマップの作成（更新）

令和元年度に更新された滋賀県の地先の安全度マップと国の洪水浸水想定区域図を基に、最新の町のハザードマップに更新し、災害予防対策に活用する。

##### ③日野川改修・国道8号整備の強化

日野川の抜本改修、国道8号の整備等に係る国・県要望を強化し加速化を図る。

#### <最後に>

この方針のもと様々な取組の目的を見定め、積極的に挑戦し続ける一年となるよう一丸となって、取り組んでいく所存でございます。

現場重視の姿勢を大切に、町民皆さまの声をしっかり受けとめ全力を尽くして町政発展のため努めてまいりますので、議員皆さま方の格段の御指導と御協力をはじめ、町民皆さま方のより一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げ、令和2年度に当たっての行政執行方針といたします。